

町田市民文学館ことばらんどの存続を求める請願

<請願要旨>

町田市民文学館ことばらんど(以下「文学館」)は、貴重な文化財としての文学資料を後世に伝えると共に、町田市の新たな魅力の創出や地域振興等を意図して2006年10月に設置され、昨年10周年を迎えました。この間、著名な作家を取り上げた展覧会や各種催しを通じて、2015年8月には来館者50万人を達成し、地域の活性化にも大きく貢献してきました。

また、開館以来毎年秋に、地域のシンボルである文学館を盛り立てるために、地元町内会や商店会が協力して「文学館まつり」を開催するなど、地域住民の交流拠点としても重要な役割を果たしています。

ところが、本年2月に公表された「町田市5ヶ年計画17-21」では、文学館について2017年度、18年度でその存廃を決定するとされています。現在、策定が進められている「公共施設再編計画」でも、他の施設との集約化による文学館等の廃止の可能性が示唆されています。

少子高齢化や人口減少による厳しい財政事情は理解できますが、ようやくその活動が軌道に乗り、町田ならではの魅力・文化の発信拠点として、これから地域と共にさらに一歩を踏み出そうとしている矢先に、このような計画が示されたことに、大きな衝撃と深い危惧の念を抱かざるを得ません。

町田の文学館は、子どもたちが社会を生き抜く上で必要な言葉の力を獲得するために、そして、今後ますます進行する高齢化社会にあって、多くの市民が生き甲斐をもって豊かに暮らしていくためにも、大きな役割を担うことができる施設です。これらのことを踏まえ、文学館が地域と共にいっそう発展することを願って、次の項目を実施されるよう請願します。

<請願項目>

町田市民文学館ことばらんどを、今後も現在の場所に存続させること

町田市議会議長 吉田 つとむ 様

請願者

原町田一丁目町内会会長	古木 一男	原町田二丁目町内会会長	飯田 高信
原町田二丁目旭ヶ丘自治会会長	桜庭 俊幸	原町田三丁目町内会会長	宮島 榮一
原町田四丁目第一町内会会長	三橋 良二	原町田四丁目第二町会会長	田野倉 進
原町田五丁目町内会会長	平本 勝哉	原町田六丁目若葉会会長	五十嵐 政文
原町田六丁目町内会六生会会長	鈴木 暢生		

★私たちもこの請願を支持しています！

今福 克保(東京町田ペンクラブ会長)/大宇根 弘司(建築家)/小田中 柑子(俳人)/おぼ まこと(絵本作家)/加藤 宗哉(文芸評論家)/国松 俊英(児童文学者)/小島 政孝(町田地方史研究会会長)/嶋岡 晨(詩人)/藺田 碩哉(町田市レクリエーション連盟理事長)/辻 由美(作家・翻訳家)/中上 哲夫(詩人)/新倉 孝雄(写真家)/佛淵 健悟(俳諧作者)/三橋 國民(造形作家)/森村 誠一(作家)ほか

***ご家族等のご署名もよろしくお願ひします。**

氏 名	住 所 (都道府県名から)	押印 (代筆の場合)

問合せ/署名簿送付先：〒194-0013 町田市原町田4-20-10 田野倉 進 TEL042(725)3980

締め切り：2017年11月24日(金)までに上記まで手渡しまたはご郵送願ひします。